様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大阪美容専門学校
設置者名	学校法人　大美学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	１７７０時間	１６０時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.daibi.ac.jp/course/total/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大阪美容専門学校
設置者名	学校法人　大美学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.daibi.ac.jp/about/report/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
松尾　利子 （非常勤）	美容師	2018 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日	経営運営体制へのチェック機能
北野　雄三 （非常勤）	美容師	2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日	経営運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪美容専門学校
設置者名	学校法人　大美学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 本校教育理念に基づき、美容業界で活躍するための技術・知識・心構えなど美容師国家試験合格基準を主要な到達目標として計画的な指導を行っている。 目標達成に向けて必要な必修科目・選択科目をカリキュラム編成時に適切に配分し、その修了に必要な授業時間数、学習内容を学則に明確に示しており、それに基づきシラバスを作成している。また成績評価の方法・基準に関しても同様である。 次年度教育課程確定後、各教科担当者がシラバスを作成する。3 月頃ホームページにて公表している。	
授業計画書の公表方法	https://www.daibi.ac.jp/course/total/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学習成果の目標である美容師国家資格取得に必修となる教科ごとに定期試験を実施し、到達レベルを定めている。　目標に向けての指導、支援体制として、受験対策、模擬試験、補習などを実施している。　併せて月毎に管理している履修状況を基に、段階的な指導・支援を行い評価・履修認定を行っている。	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績評価の基準に関して学則で規定し、本校ホームページで公表している。学生の成績状況等に関しては、実施要綱に基づく定期試験を半期毎に行い、管理・指導している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.daibi.ac.jp/course/total/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業（進級）認定に関しては、認定評価の基準を明確化し、客観性、統一性が保たれている。　その上で、校長・教務部長など複数名の管理職による判定会議を開催し、適正に判断し、運用されている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.daibi.ac.jp/course/total/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大阪美容専門学校
設置者名	学校法人　大美学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
収支計算書又は損益計算書	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
財産目録	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
事業報告書	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
監事による監査報告（書）	https://www.daibi.ac.jp/about/report/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	衛生専門課程	美容科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	２０４０	660	0	1380	0	0
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	48 人	0 人	2 人	8 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校教育理念に基づき、美容業界で活躍するための技術・知識・心構えなど美容師国家試験合格基準を主要な到達目標として計画的な指導を行っている。 目標達成に向けて必要な必修科目・選択科目をカリキュラム編成時に適切に配分し、その修了に必要な授業時間数、学習内容を学則に明確に示している。また成績評価の方法・基準に関しては学則で明確に規定し、本校ホームページで公表している。 単位と授業時数の関係は１単位を３０時間としており、シラバスもこの関係に沿って単位で表している。

成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の基準に関して学則で規定し、本校ホームページで公表している。学生の成績状況等に関しては、実施要綱に基づく定期試験を半期毎に行い、管理・指導している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業（進級）認定に関しては認定評価の基準を明確化し、客観性、統一性が保たれている。　その上で校長・教務部長など複数名の管理職による判定会議を開催し適正に判断し運用されている。
学修支援等
（概要） 学習成果の目標である美容師国家資格取得に必修となる教科ごとに定期試験を実施し、到達レベルを定めている。目標に向けての指導、支援体制として、受験対策、模擬試験、補習などを実施している。併せて月毎に管理している履修状況を基に、段階的な指導・支援を行い評価・履修認定を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 （100%）	0 人 （　0%）	13 人 （100%）	0 人 （　0%）

（主な就職、業界等）

美容室、ブライダルヘアメイク、ネイリスト、メイクアップアーティスト、
アイリスト、エステティシャン、着付師　他

（就職指導内容）

指導方針は「マッチング」。充実した人生を続けるために「自分にあった、納得いく就職=自己理解+職業理解」を軸に指導。指導は担任をはじめ卒業生を含めた業界人、公的就職支援関係者等と連携して実施。

（主な学修成果（資格・検定等））

・美容師国家資格　合格者 13 名（合格率 100%）
・ネイリスト技能検定(JNEC 主催)　合格者 11 名（合格率 85%）
・JNA ジェルネイル技能検定　合格者 4 名（合格率 100%）
・パーソナルカラリスト検定　合格者 4 名（合格率 80%）
・ABE メイクアップアシスタントディレクター　合格者 4 名（合格率 100%）
・ABE エステティックアシスタントディレクター　合格者 6 名（合格率 100%）
・ABE まつ毛エクステンションアシスタントディレクター　合格者 4 名（合格率 100%）

（備考）（任意記載事項）

美容師国家資格以外は選択受験

中途退学の現状

令和元年度当初在学者数	令和元年度の途中における退学者の数	中退率
４０人	９人	２２%

（中途退学の主な理由）

・学業不振１名
・学校生活不適応１名
・進路変更４名
・病気・けが２名
・家庭の事情１名

（中退防止・中退者支援のための取組）

１クラスを少人数とし教員が生徒一人ひとりを直接指導しています。また、クラス担任制で担任および生活指導担当が指導にあたります。美容の学習は実習授業が多いことから「しっかり・何度も」が上達の秘訣と指導し、時には保護者の方を交えての話し合いをするなど親身になった指導を心掛けています。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
衛生専門課程美容科	100,000 円	576,000 円	661,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.daibi.ac.jp/about/report/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
・学校評価は①学校運営②学習指導③生徒指導④進路指導に関して行う。評価結果に基づき対策委員会を開催し、学校として組織的重点的に取り組むべきことは何かを把握し、学校全体としての教育活動の充実・改善方策を策定し、理事長を責任者として遅滞なく改善方策を実施し、改善を進めていく。 ・学校関係者評価者メンバーには保護者、卒業生及び関連企業、連携校にも依頼している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
・保護者・卒業生	年度ごと	保護者、卒業生
・八洲学園高等学校　教頭	年度ごと	技能連携校委員
・（株）カネコ　代表取締役	年度ごと	企業等委員
・石川公認会計士事務所　税理士	年度ごと	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.daibi.ac.jp/about/report/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.daibi.ac.jp/